



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社
コード番号 3437 URL <http://www.tokuden.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 芳治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 最高財務責任者 (氏名) 高島 良成 TEL 06-6401-9421
四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月7日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,267	8.8	310	46.7	320	44.6	219	53.1
28年3月期第2四半期	3,923	△6.5	211	63.1	221	56.3	143	113.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 220百万円 (82.5%) 28年3月期第2四半期 120百万円 (53.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	274.25	—
28年3月期第2四半期	179.11	—

平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	7,120	3,779	52.9	4,703.04
28年3月期	7,000	3,587	51.0	4,459.34

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,765百万円 28年3月期 3,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.50	—	35.00	—
29年3月期	—	35.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しており、平成28年3月期の年間配当金の合計は「—」として記載しております。(当該株式併合を踏まえて換算した場合、平成28年3月期の年間配当金の合計は1株につき70円)

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	0.4	399	△18.7	408	△19.8	332	△24.0	415.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	801,000株	28年3月期	801,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	381株	28年3月期	352株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	800,641株	28年3月期2Q	800,767株

平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策などにより雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、英国のEU離脱問題や中国及び新興国の経済成長鈍化などの影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中にあつて当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上やコスト削減を強力に推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品・新商品の開発ならびに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、タイの海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,267百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。また、損益面におきましては、営業利益は310百万円（同46.7%増）、経常利益は320百万円（同44.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は219百万円（同53.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と徹底したコスト低減、品質管理により受注拡大に努めました結果、トッププレート工事、アルミダイカスト関連工事、粉碎ミル工事、連続鋳造ロール工事、現地機械加工工事、プラズマ粉体肉盛工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が増加したことにより、売上高は3,161百万円（前年同四半期比16.6%増）、セグメント利益は455百万円（同30.8%増）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売強化に努めましたが、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は260百万円（前年同四半期比0.7%増）、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は398百万円（同12.1%減）となり、溶接材料の合計売上高は659百万円（同7.4%減）、セグメント利益は118百万円（同3.1%増）となりました。

③ その他

環境関連装置の受注は増加しましたが、自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注が減少したことにより、売上高は446百万円（前年同四半期比10.6%減）、セグメント利益は36百万円（同13.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,820百万円となり、前連結会計年度末に比べて150百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金163百万円の減少がありましたが、現金及び預金355百万円の増加が主な要因です。固定資産は1,299百万円となり、前連結会計年度末に比べて30百万円減少しました。これは、投資その他の資産14百万円の増加がありましたが、有形固定資産37百万円、無形固定資産7百万円の減少が主な要因です。

この結果、総資産は、7,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,478百万円となり、前連結会計年度末に比べて65百万円減少しました。これは、未払法人税等110百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金32百万円、短期借入金70百万円、賞与引当金44百万円、その他27百万円の減少が主な要因です。固定負債は862百万円となり、前連結会計年度末に比べて6百万円減少しました。これは、その他5百万円の減少が主な要因です。

この結果、負債合計は、3,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,779百万円となり、前連結会計年度末に比べて192百万円増加しました。これは、利益剰余金191百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は52.9%（前連結会計年度末は51.0%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ355百万円増加し、1,509百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益319百万円に賞与引当金の減少44百万円、たな卸資産の増加14百万円、仕入債務の減少30百万円、未払金の減少17百万円などの資金減少要因があったものの、減価償却費の計上60百万円、売上債権の減少161百万円、法人税等の還付額52百万円などがあり、483百万円の収入（前年同四半期は4百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出20百万円、投資有価証券の取得による支出2百万円などがあり、22百万円の支出（前年同四半期は2百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純減少額70百万円、リース債務の返済による支出5百万円、配当金の支払による支出28百万円などがあり、104百万円の支出（前年同四半期は14百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして現時点におきましては、平成28年5月19日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,563	1,509,267
受取手形及び売掛金	3,372,349	3,208,993
商品及び製品	521,690	533,329
半成工事	337,381	328,710
原材料及び貯蔵品	72,865	85,688
その他	212,656	155,467
貸倒引当金	△856	△994
流動資産合計	5,669,650	5,820,462
固定資産		
有形固定資産	1,022,190	984,519
無形固定資産	47,183	39,299
投資その他の資産	261,089	275,845
固定資産合計	1,330,463	1,299,664
資産合計	7,000,114	7,120,127
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,856,442	1,823,839
短期借入金	220,000	150,000
未払法人税等	—	110,300
賞与引当金	215,720	171,188
工事損失引当金	12,962	11,388
その他	238,673	211,431
流動負債合計	2,543,799	2,478,147
固定負債		
退職給付に係る負債	549,192	548,565
その他	319,634	313,690
固定負債合計	868,826	862,256
負債合計	3,412,625	3,340,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	2,783,164	2,974,718
自己株式	△728	△794
株主資本合計	3,662,060	3,853,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,071	△6,217
為替換算調整勘定	783	△619
退職給付に係る調整累計額	△85,407	△81,367
その他の包括利益累計額合計	△91,695	△88,204
非支配株主持分	17,123	14,379
純資産合計	3,587,488	3,779,723
負債純資産合計	7,000,114	7,120,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,923,101	4,267,176
売上原価	2,877,167	3,107,583
売上総利益	1,045,934	1,159,592
販売費及び一般管理費	834,518	849,389
営業利益	211,416	310,202
営業外収益		
受取利息	494	214
受取配当金	1,800	1,429
受取保険金	42	5,181
駐車場収入	1,519	1,505
その他	7,459	2,615
営業外収益合計	11,317	10,946
営業外費用		
支払利息	988	590
駐車場収入原価	461	450
その他	—	76
営業外費用合計	1,449	1,118
経常利益	221,284	320,031
特別利益		
固定資産売却益	443	—
特別利益合計	443	—
特別損失		
固定資産除却損	1,542	225
特別損失合計	1,542	225
税金等調整前四半期純利益	220,185	319,806
法人税、住民税及び事業税	55,532	95,076
法人税等調整額	24,544	6,436
法人税等合計	80,076	101,512
四半期純利益	140,109	218,293
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,315	△1,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,425	219,576

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）
四半期純利益	140,109	218,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,989	853
為替換算調整勘定	△6,272	△2,863
退職給付に係る調整額	1,875	4,040
その他の包括利益合計	△19,387	2,030
四半期包括利益	120,722	220,324
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,728	223,067
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,005	△2,743

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	220,185	319,806
減価償却費	64,397	60,551
賞与引当金の増減額(△は減少)	△44,860	△44,532
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,634	5,709
受取利息及び受取配当金	△2,295	△1,644
支払利息	988	590
売上債権の増減額(△は増加)	222,296	161,236
たな卸資産の増減額(△は増加)	△87,338	△14,438
仕入債務の増減額(△は減少)	△144,714	△30,102
未払金の増減額(△は減少)	△180,706	△17,119
その他	△1,487	△10,217
小計	66,099	429,839
利息及び配当金の受取額	2,277	1,737
利息の支払額	△980	△583
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△69,150	52,812
長期預り金の返還による支払額	△2,376	△192
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,130	483,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,484	△20,303
有形固定資産の売却による収入	16,498	—
無形固定資産の取得による支出	△1,859	—
投資有価証券の取得による支出	△2,140	△2,022
敷金の回収による収入	13,996	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,989	△22,325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	△70,000
リース債務の返済による支出	△5,940	△5,940
配当金の支払額	△27,972	△28,745
その他	△244	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,157	△104,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,167	△832
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,444	355,703
現金及び現金同等物の期首残高	1,354,556	1,153,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,332,112	1,509,267

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。